

みんなで築こう人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

人権推進課人権推進係 ☎(63)8351

人権週間は、家庭・学校・地域・職場のみんなが、人権を考える1週間です。あらゆる差別や偏見をなくし、みんなが明るく暮らせる社会をつくるためには、私たち一人ひとりが、人権について正しく理解し、周りの人の人権を尊重する意識をもつことが大切です。

身近なところで「あっ、これも人権か」と気づくことがないか、考えてみましょう。

人権擁護委員

による人権相談

とき

毎月第2木曜日
午前10時～午後3時

ところ

市役所新館2階
市民相談室

人権擁護委員はあなたの街の相談パートナーです。

いじめ、体罰、差別問題、結婚、離婚、家族、相続、借地借家、近隣のもめごと、その他どんなことでもご相談ください。

※相談は無料です。秘密は守りますので、お気軽にご相談ください。

※委員宅でも相談を行っていますので、人権推進係へ問い合わせるか、広報かぬま6月号11ページをご覧ください。

※10月1日から、下粕尾の福田光代さんと旭が丘の杉山哲之さんが新委員に就任しました。

平成23年度 人権啓発標語入賞作品 (敬称略)

○最優秀賞

さしのべる この手愛の手 絆の手

上材木町 小林 美恵子

(標語の思い)

絆という言葉はすばらしく、人間この世で一人では生きられず、多くの方々とたずさえ合っています。困った時ほど助け合い、絆が深まります。今年は震災もあり、絆の心が深まった年だと思えます。

○優秀賞

深めよう 家族の絆 地域の絆

栗野中3年 松本 幸枝

(標語の思い)

一番身近な存在である家族とのつながりを大切にして、絆を深めることが、最も始めやすいことなのではないでしょうか。お互いが、助け合える社会を目指したいです。

見て育つ 家族の絆の 重要さ

東小6年 吉澤 彩耶音

(標語の思い)

自分のことを一番に考えてくれるのがお父さんでありお母さんであり家族なのだと思えました。家族の絆というのは、家族を見ていれば自然に育つものだと思うので、この標語を作りました。

○入選

助け合う やさしい気もちと その笑顔

西小3年 湯沢 亜海

高めよう 家庭の会話で 人権意識

上野町 松永 君子

人と人 つなぐきつなは おもいやり

みなみ小3年 本原 莉紗

育てよう 自分の気持ちを 伝える子に

北犬飼中3年 稲川 実里

やめようよ いじめや差別 めないかり

みどりが丘小5年 前澤 雅陽

あいさつで 開こうみんなの 心のとびら

津田小4年 設楽 春乃

こんにちは えがおとえがおが であつまち

みどりが丘小2年 根本 風希

思いやる 心がつくる 明るい未来

南押原小5年 池田 康輝

